

## 平成 21 年 5 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 21 年 5 月 21 日 (木) 午後 2 時 40 分～午後 3 時 55 分

2. 場 所 市立公民館・中央地区公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 毛利 高二 委員長職務代理者 坂田 忠義  
委員 宮崎 慶次 委員 川岸 靖代 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育次長兼教育総務部長	西田 寛	生涯学習部長	池阪 雄宏
学校教育部長	樋口 利彦	生涯学習課長	鍋谷 佐和子
総務課長	柿本 邦彦	スポーツ振興課長	元廣 秀晴
学校管理課長	児嶋 英幸	郷土文化室長	近藤 利由
学校教育課長	谷 桂輔	図書館長	松田 周光
人権教育課長	岡本 正之	総務課参事	阪田 京子
産業高等学校事務長	宮崎 信男	総務課参事	赤井 敏明

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について異議なく承認された。本会議録署名者に宮崎委員を指名した。  
傍聴人 1 名。

報告第 21 号 平成 20 年度生徒指導状況まとめ

○ 毛利委員長

報告第 21 号 平成 20 年度生徒指導状況まとめについて事務局から説明をお願いします。

○ 谷学校教育課長

まず、小学校ですが、問題行動については、不良行為の中で万引きは、昨年、一昨年に比べて減少しています。また、喫煙についても件数は昨年に比べて減少しています。さらに、暴力行為も減少傾向にあり、各校での取り組みの成果と考えております。一方、いじめ・不登校については、いじめは減少しているが、不登校は若干だが増加傾向にあります。

次に、中学校の問題行動については、万引き、喫煙ともに残念であるが増加傾向にある。ま

た、暴力行為、いじめについては、前年より減少しており、不登校に関しては若干増える傾向にある。

以上が実態ですが市教委としましては、これまで同様、生徒指導のサポートとして府や国の制度を活用しスクールカウンセラーの配置や、スクールソーシャルワーカーの配置などにより、学校とともに問題行動の減少に努めてまいります。また、不登校の問題については、増加傾向にあります。教育相談の充実ということで、教育相談室からは学校を訪問しつつ、長期欠席中の児童生徒の状況を的確に把握し、支援していくとともに適応指導教室等あわせて学校と協力しながら、問題の解決に引き続き努力していきたいと考えております。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

万引きの件数は、警察に保護された件数ですか。

○ 樋口学校教育部長

学校が指導した延べ人数です。リピーターも含まれます。

○ 谷学校教育課長

発生すれば、学校としても関係機関と協力し、保護者も含めて指導して再発の防止につとめています。

○ 坂田委員長職務代理者

小学校の万引きは、特に減少、半減しているが。

○ 樋口学校教育部長

警察とサポートセンターが、非行防止教室を5、6年生を対象に実施しており、喫煙等良くないことへの指導の効果もあると考えます。

○ 毛利委員長

たばこの購入は難しくなっているが、あまり効果がないようだ。

○ 毛利委員長

最近の児童、生徒は携帯電話に依存しているのではないか。

○ 樋口学校教育部長

携帯の所持率については、小学生は38.5%、中学生は78.3%という統計が出ています。

○ 永本教育長

生徒間の暴力は、かなり減っているのではないか。

○ 谷学校教育課長

特に中学校は学校の取り組みの効果と思われます。

○ 永本教育長

集団で大変問題になるような事象は聞いていないが、実際はあるのか。

○ 谷学校教育課長

今のところ、報告はありません。

- 毛利委員長  
対教師暴力はあるのか。
- 樋口学校教育部長  
はい、指導に対する反発から起こることがあります。

報告第 22 号 防犯ブザーの寄付について（各小学校）

- 毛利委員長  
報告第 22 号は、書面にて報告とします。

報告第 23 号 平成 20 年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況について

- 毛利委員長  
報告第 23 号 平成 20 年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況について、事務局から説明をお願いします。
- 岡本人権教育課長  
卒業生は総数で 100 名程が減。全日制は私立が約 80 名の減で、これは費用の面で減っていると思われる。また、定時制は少しですが増加しています。  
そういうこともありますので、進路選択支援相談を実施しており、経済的な理由で進学が難しい家庭の相談にのっています。  
また、支援学校への進学は計 16 名で、佐野支援学校 13 名、岸和田支援学校 3 名となっています。  
専修学校へは 37 名で、ニーズによって多様化していることもあり、若干増加しているものと思われます。  
最後のその他の欄に 9 名とありますが、6 名は岸城中学校の夜間中学校の卒業生で、高齢の方が多いため、自宅で過ごされていると聞いています。
- 毛利委員長  
説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。
- 永本教育長  
世の中の情勢と、定時制希望者が増えたり私学希望者が減少すること等は、常にこういう傾向を示し、子どもの進路に関係してきますね。
- 岡本人権教育課長  
そうですね。近年は、定時制では定員を希望者があふれるということはなかったのですが、今春は、あふれたところもありました。
- 永本教育長  
産業高校で特に子どもに支障が出てきたような実例、実感はありましたか。

- 宮崎産業高校事務長  
1年間見てきて、定時制で退学が増えていることはあります。また、授業料の減免件数も増加傾向にあります。
- 坂田委員長職務代理者  
専修学校へ進学される方は、どういう専修学校へ進むのですか。
- 岡本人権教育課長  
理容、美容、声優、動物のペット関連の学校等が主なものです。ただ、経費面で私立学校とあまり変わらないので、経済的に余裕のある家庭でないと難しいところがあります。
- 宮崎委員  
岸和田市内で2, 3の専修学校がありますね。
- 岡本人権教育課長  
岸和田市では大阪技能、また貝塚市には、以前は専修学校でしたが、昨年度から秋桜高等学校が通信制を併設しています。

#### 報告第24号 フレンドシップコンサートの開催について

- 毛利委員長  
報告第22号は、書面にて報告とします。報告24号についてご意見、ご質問等ありますか。
- 毛利委員長  
今回で31回目ですか。大体、時間は10時からかなり長いのですか。
- 鍋谷生涯学習課長  
10時50分から夕方までです。
- 毛利委員長  
賞とかは、あるのですか。
- 鍋谷生涯学習課長  
いいえ、ありません。

#### 報告第25号 子どもの生活リズム向上プロジェクト等について

- 毛利委員長  
報告第25号 子どもの生活リズム向上プロジェクト等について、事務局から説明をお願いします。
- 鍋谷生涯学習課長  
2つの事業がありまして、1つは子どもの生活リズム向上プロジェクトとして、いわゆる早寝、早起き、朝ごはんを中央校区で20年度にモデル事業として実施しました。一方、地域教育力の再生については、浜校区でモデル事業としました。いずれも、文部科学省からの受託事業として実施したものです。

浜校区は、近年、人口減少化、高齢化率の上昇という課題を抱えていますが、このことを改善すべく地元の方が知恵を絞り、いろんなイベントが生まれたものです。老人会への聞き取り調査を行い、高齢の方に記憶を探っていただき、元気がでた行事もありました。

また、この公民館の玄関にボードに2枚に貼り付けている地図もあります。これは、昔の浜校区の駄菓子屋、銭湯等どれだけのお店が残っているかということを対比できるように2種類の地図を作成しています。

また、浜小学校とも連携し、年齢に応じた特徴的な学習を組み立てられまして、海に関わる産業に就いておられる保護者の方、近所の方にインタビューをしたということも発表されました。こうした効果として、ななまちの力運動会の参加者は倍増しています。

中央校区をモデルにした生活リズム向上プロジェクトでは、食育講座や夏にラジオ体操等を行っています。

○ 毛利委員長

日曜にも行事があり、大変でしたね。これは、継続的に行って行くのですか。

○ 鍋谷生涯学習課長

事業としては、1年限りのものです。

○ 川岸委員

ラジオ体操の時は、子どもたちは毎日、楽しそうで、学校に行く時より早く起きていました。

○ 鍋谷生涯学習課長

我々としても、外で子どもに声をかけられることもあり、子どもと大人の顔が繋がった実感があります。

報告第 26 号 公民館・青少年会館等利用者報告について

○ 毛利委員長

報告第 26 号は、書面にて報告とします。

次に、案件に入ります。

議案第 25 号 岸和田市産業教育審議会委員の委嘱について

○ 毛利委員長

議案第 25 号 岸和田市産業教育審議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○ 谷学校教育課長

岸和田市産業教育審議会条例に基づき、岸和田市立産業高等学校のめざす教育について審議するため、産業教育審議会を設置し、10名の審議会委員を委嘱するものです。委員の構成は、地元産業界に詳しい方、大学教授、PTA、高校同窓会、大阪府教育委員会から等となってい

ます。

- 毛利委員長  
説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。
- 毛利委員長  
これは、平成 15 年から 2 年ごとに行っていたものですか。
- 樋口学校教育部長  
いいえ、平成 15 年は条例改正を行った年で、本審議会は前回、平成元年に立ち上げ、検討しております。
- 毛利委員長  
前回と同じ委員はいるのですか。
- 樋口学校教育部長  
20 年前の委員はいません。全ての委員が入れ替わっています。任期は 2 年間とさせていただいておりますが、それは、1 年間で審議してもらおうのですが、結果も含めて報告もあることによるものです。
- 坂田委員長職務代理者  
和歌山大学の教授の専門は何ですか。
- 谷学校教育課長  
地域経済が専門の方です。
- 樋口学校教育部長  
岸和田市にある和歌山大サテライトの関係もされてます。
- 毛利委員長  
他に質疑、意見等がないようですので、本件について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- 委員  
異議なし。
- 毛利委員長  
ご異議がないようですので承認します。

議案第 26 号 岸和田市産業教育審議会への諮問について

- 毛利委員長  
議案第 26 号 岸和田市産業教育審議会への諮問について、事務局から説明をお願いします。
- 谷学校教育課長  
平成元年に答申をいただき、その後 20 年が経過し、社会の変化に対応すべく今後の産業高校のあるべき姿を審議いただきたく次の 3 つについて諮問いたします。  
1. 地域の実態や生徒の多様化に対応する産業教育のあり方 2. 社会のニーズに対応する

職業教育のあり方 3. そのための教育計画などはどうあるべきか の3点です。

最近、進学を希望する生徒が増加している状況もあり、今後の産業高校のあり方を検討するものです。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 坂田委員長職務代理者

商業科のあり方等についても検討を願えたらと思うが。

○ 永本教育長

学校の考え方は、パソコンは進んでいるが、簿記についても専門性を持たせ、プラス語学力の向上を図るとしている。

○ 毛利委員長

答申後に、教育委員会において意見を述べることになるのか。

○ 樋口学校教育部長

答申をいただいた後、学校のありようについて教育委員会の場において、考えていただく予定です。また、年度内の2月頃までに答申をいただく予定、審議会の開催回数は6, 7回で考えています。

○ 毛利委員長

教育計画(案)の中に、大学との連携とあるが、どこの大学を想定しているのか。

○ 宮崎産業高校事務長

和歌山大学の経済学部を想定しています。昨年から、先生方が和歌山大学へ行き、授業風景、打ち合わせ等をいたしております。と言いますのは、最近、和歌山大学に進学する生徒が出てきていることによるものです。他の大学も先生方には動いていただいているが、結論が出ていない状況です。

○ 毛利委員長

他に質疑、意見等がないようですので、本件について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

○ 委員

異議なし。

○ 毛利委員長

ご異議がないようですので承認します。

議案第27号 補正予算について(小学校外国語活動実践研究事業及び学力向上支援事業)

○ 毛利委員長

議案第27号 補正予算(小学校外国語活動実践研究事業及び学力向上支援事業)について、事務局から説明をお願いします。

○ 谷学校教育課長

1つは、小学校外国語活動実践研究事業です。学習指導要領が小学校においては、平成 23 年度から実施されることとなっており、その中に外国語活動ということが新たに設けられたところですが。文部科学省より英語ノートを全校に配布することとなり、学級担任、外国語活動を担当する教員が中心となる指導体制のあり方等について実践的な取り組みを推進するものです。予算額は、報償費、需用費等で 76 万円。本年度は、城内、修斉小学校の 2 校で実施します。

2つ目は、学力向上支援事業です。これは、学力向上に積極的に取り組むことを目的に、基礎学力・活用力の育成、授業の改善、日々の生徒指導や学習環境の整備等の視点から改善計画を各学校が策定、実施することを支援するものです。予算額は、報償費、需用費等として 2,625 万円です。本市小学校は 24 校、中学校は 11 校ですので、合わせて 35 校で割りますと 1 校あたり 75 万円相当となります。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 宮崎委員

予算の財源内訳は、どうなっていますか。

○ 谷学校教育課長

1つ目の外国語活動については、100%国の補助です。また、2つ目の学力向上支援事業につきましては、2,625 万円の内、2,325 万円は大阪府の補助で、残り 300 万円が岸和田市の負担となります。

○ 毛利委員長

城内小学校は、1 学年のクラス数は多いですね。

○ 樋口学校教育部長

はい、4、5 クラスあります。修斉小学校は 2 クラスです。

○ 宮崎委員

教材費は割と安いですね。

○ 樋口学校教育部長

はい、そうですね。英語の関係では、そのノートを活用した実践の報告等も広めて、拠点校として頑張ってもらいたいと考えています。また、この他にも特色ある活動として、各小学校に教材等に対して、1 校あたり 7 万円の補助を行っております。

○ 毛利委員長

他に質疑、意見等がないようですので、本件について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

○ 委員

異議なし。



- 毛利委員長  
ご異議がないようですので承認します。

議案第 28 号 補正予算について（ふるさと雇用再生基金事業）

- 毛利委員長  
議案第 28 号 補正予算（ふるさと雇用再生基金事業）について、事務局から説明をお願いします。
- 鍋谷生涯学習課長  
これは、ふるさと雇用再生特別交付金事業の一つとして、公民館等施設の緑化、生涯学習活動を推進するため、仮称ですが「ヘーイ グリーン作戦事業」を実施するものです。また、この事業は、国の補正予算に伴うもので、厚生労働省の雇用創出が目的ということで、岸和田市の窓口は商工観光課となり、歳入は一括して行っています。中身につきましては、全ての市内公民館 19 館の堀にヘチマ、きゅうり、朝顔等の植物を育てて、公民館活動に用いたり、アピールに役立てるものです。予算額は、900 万円で内容は、高齢者 4 人の雇用、苗の購入、研修費用等です。また、今年度を初年度に 3 年間の時限の事業となっています。
- 毛利委員長  
説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。
- 宮崎委員  
冬も、わりとグリーンの葉は残るのですか。
- 鍋谷生涯学習課長  
はい、その点についても研究してまいりたいと思います。
- 毛利委員長  
他に質疑、意見等がないようですので、本件について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- 委員  
異議なし。
- 毛利委員長  
ご異議がないようですので承認します。
- 毛利委員長  
本日、予定していた案件は以上ですが、その他でなにかございますか。
- 毛利委員長  
自然資料館で使っている折り紙の本は、すばらしいものですね。
- 近藤郷土文化室長  
自然資料館だけではなく、幼稚園でも活用できるものと考えています。発想が奇抜です。ま

た、自然資料館ではチリメンモンスターが有名で、近々、一般出版社から発売される予定で、遠くからの問い合わせも多いところです。

○ 毛利委員長

それでは、これもちまして本日の定例教育委員会は閉会とさせていただきます。

閉会 午後3時55分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員